

島田市行政改革推進委員会委員の意見(小泉)

委員会の委員の意見や傍聴いただいた市民の方々の感想を基に、次のような意見を提出します。

市の仕事を進めていくうえでは、トップの方針の浸透を図るとともに、一方では、各職員が自分の仕事のことを考えるだけでなく市全体のことを考えていくことが重要だと考えます。また、各職員が、自分が上の立場であったらどうかと考えることで、トップの方針の理解も進むことが期待できます。

このような職員の主体性、積極性を引き出すためには、トップダウンとボトムアップの両方がバランスよく機能することが重要です。要は、風通しがいいことが大切です。

市の仕事の多くは、市役所の内部以上に市役所の外部との連携・協働が重要ですので、市の目標を市民と共有し、市役所とともに市民が力を出し合っているか、目標達成のカギを握っていることを広く市民に理解してもらう必要があります。市の総合計画は、市役所だけの計画ではなく、市民で構成する自治体の計画であり、市役所と市民が共に島田市の未来に向けて力を結集するためのものです。

第2次島田市行政経営戦略は、第2次島田市総合計画に掲げる7つの分野の政策の推進を横断的な観点から支えるために、市役所の行政経営、人材育成、組織力強化、財政の運営、市民との協働体制の確立等について基本方針と推進施策を定めています。

総合計画の政策が効果的、効率的に展開していくように、人口減少社会に挑戦する経営改革に取り組んでいくことを期待しています。